

令和元年度

決算の概況(2)

一般会計 歳出の状況

下水道事業特別会計

農業集落排水事業特別会計

浄化槽整備推進事業特別会計

農政建設常任委員会関係

都市整備部

○決算の概況 (2) について

1 上段の表中の表示について

- (1) 執行額、翌年度繰越額、執行残額は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は「-」（ハイフン）を表記しています。
- (2) 執行額の財源内訳欄及び執行残額の内訳欄は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は見易さを考慮し空白としています。
- (3) 個々の数字は、表示単位で四捨五入しています。また、財源内訳欄は、それぞれの数値を表示単位で四捨五入し全体額との調整を一般財源欄で行っています。

2 執行残額について

執行残額については、大きく4つの理由に分けて金額を表示するとともに、具体的な内容を【執行残額について】に記載しています。

なお、原則として千円単位の表記となっていますが、執行残額が「0」の場合（単位未満の数値がある）は、円単位で表記しています。

※令和元年度事業が令和2年度に複数の課に分割された場合は、令和2年度所管課分の数値を記載し、下段【】書きで令和元年度事業全体事業費を記載してあります。

事業の概要以降は、令和2年度所管課分の事業について作成してあります。

(例) 令和元年度事業費(●●課) 48,000千円



令和元年度事業費(令和2年度○○○○課) 36,000千円
令和元年度事業費(令和2年度△△△△課) 12,000千円

※令和元年度と令和2年度で所管課名称が変更になった場合、または、課等の名称が変更になった場合は、下記のとおり表現とし、事業を担当する令和2年度の所管課が作成してあります。

記入例 : 令和元年度は●●課で実施した事業が
令和2年度に○○○○課に移管された場合

所管課等	○○○○課 (令和元年度所管は●●課)
------	------------------------

(単位：千円)

決算書 (P ~ P)	款 項 目	所管課等	○○○○課 (令和元年度所管は●●課)
事業名			

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
36,000 【48,000】						
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	

執行額、翌年度繰越額、執行残額の欄は、次のとおり
単位未満の数値あり：「0」（ゼロ）
該当数値なし：「-」（ハイフン）

財源内訳、内訳の欄は、次のとおり
単位未満の数値あり：「0」（ゼロ）
該当数値なし：空白

(単位：千円)

決算書 (P136～P137)	2款1項7目 企画費	所管課等	都市整備課
事業名	景観デザイン事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,280	6,382	2,621				3,761
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	898				898	

【目的】

- ・景観計画に掲げる、上質な美しさが実感できるまちの実現と地域の特性をいかした景観づくりを推進する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・公共施設及び民間施設について、景観アドバイザーからの助言や届出制度の実施により、景観の向上を推進する。
- ・南本町三丁目の景観まちづくり活動を支援し、地域の主体性の向上を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・景観アドバイザーによる建築物等へのアドバイスの実施
アドバイス件数：35件（アドバイス内容の内訳：色彩29回、照明13回、デザイン0回）
（主な案件：上越文化会館外壁、高田世界館前広場、頸城中学校、五智公園遊具等）
- ・景観づくりに重大な影響を及ぼす建築物等の「新築、改築、外観の模様替え、色彩変更」等の行為に対する市への届出等に関し、審査を実施
届出及び通知件数：99件
（主な案件：小林古径記念美術館、南川保育園、城北中学校体育館等）
- ・景観審議会の開催：令和2年2月19日（水）
令和元年度の景観事業の報告、上越市景観計画に基づく取組についての意見交換
- ・南本町三丁目における景観まちづくり活動の支援
高校生と連携した雁木の塗装や格子を設置する修景活動、雁木のまちなみに合う照明を検証する照明体験ワークショップの実施、フリーペーパーの発行、景観色彩ガイドラインの運用に向けての検討等

○目標達成状況

- ・景観アドバイザーによるアドバイスを基に協議を行うこと及び届出制度に基づく審査の実施により、周辺環境と調和するよう誘導し、景観の向上の推進に寄与することができた。

決算書 (P136～P137)	2款1項7目 企画費	所管課等	都市整備課
事業名	景観デザイン事業		

- ・南本町三丁目の景観まちづくり活動では、組織体制において活動班ごとにリーダーを決めたことで、リーダーを中心に地域住民が自主的にアイデアを提案する動きが見られ、地域住民の主体性の向上が図られた。

【事業の成果】

- ・届出制度や環境色彩ガイドラインの周知のほか、景観アドバイザー制度の活用により、市民や事業者の理解を得ながら、景観計画に基づく建築物の色彩誘導など景観の向上を推進することができた。
- ・南本町三丁目の景観まちづくり活動では、まちなみに統一感や連続性を持たせ、地域の魅力を更に向上させるために、地域が「南本町三丁目景観色彩ガイドライン」を作成し、運用を開始した。外壁や屋根、雁木の色をガイドラインに沿ったものとするため、建物の新築、改修の際の相談体制も構築した。このことにより、地域住民で、まちなみのイメージが共有され、景観についての意識を高めることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・景観計画に基づいて、景観づくりを計画的に推進していくため、アクションプランを策定し、進捗状況等の点検を行いながら、事業を推進していく。
- ・また、景観事業として、継続的に景観の取組に関する情報を発信していく必要があるため、情報発信の方策について検討を進めていく。
- ・南本町三丁目の景観まちづくり活動では、地域が主体となった活動が継続できるよう、引き続き支援していくとともに、他の地域にも景観まちづくり活動を広げていくための方策について検討を進めていく。

【執行残額について】

○その他	898
・実績が見込みを下回ったもの	898
報酬	60
報償費	470
旅費	214
使用料及び賃貸料	1
負担金補助及び交付金	153

(単位：千円)

決算書 (P146～P147)	2款1項16目 みどりのまち推進費	所管課等	都市整備課
事業名	みどりのまち推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,149	7,053					7,053
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	96				96	

【目的】

- ・イベントを通じて、緑化意識の啓発を図る。
- ・花壇の整備等を行うことにより、景観の向上や環境の保全を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■上越市みどりのフェスティバル実行委員会交付金 450

○令和元年度目標

- ・来場者数で5,500人、来場者アンケートの結果におけるイベントの満足度、緑化意識の啓発度で9割を目標とする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越市みどりのフェスティバル実行委員会の主催により、以下のとおり第21回みどりのフェスティバルを開催した。

開催日：平成31年4月29日(月・昭和の日)

場 所：高田城址公園芝生広場

内 容：市内の関係20団体が集まり、自然観察会や木工教室など緑化に関する体験イベントや展示、花苗・飲食物の販売などの催しを実施した。

○目標達成状況

- ・開催日当日は天候にも恵まれ、来場者数は約5,500人となり、目標を達成することができた。
- ・来場者アンケートの結果、「イベントに対する満足度」は91.8%であったが、「緑を大切に思うことの高まり」については85.6%であったため、目標の9割を達成することができなかった。

決算書 (P146～P147)	2款1項16目 みどりのまち推進費	所管課等	都市整備課
事業名	みどりのまち推進事業		

■植栽管理等委託ほか 6,603

○実施内容、これまでの経過等

- ・沿道や施設の花壇等の維持管理や植栽を行った。

種別	面積	箇所数、緑化場所等
沿道花壇等	10,843 m ²	75 箇所 (合併前上越市 8 箇所、9 区 67 箇所) 国道 8 号石橋交差点、国道 405 号牧区総合事務所前等
施設花壇	1,631 m ²	15 箇所 (合併前上越市 3 箇所、7 区 12 箇所) 上越文化会館、五智公園等
その他	—	3 箇所 (合併前上越市 1 箇所、1 区 2 箇所) 高田城址公園プランター、国道 253 号大島区内歩道プランター
合計	12,474 m ²	93 箇所 (合併前上越市 12 箇所、9 区 81 箇所)

※一部の花壇等は地元町内会や緑化団体が管理及び植栽を実施

【事業の成果】

- ・上越市民みどりの憲章に掲げている、「みどりの大切さを学び、みどりを守り育て、みどりを次の世代に引き継いでいく」ことの一環として、みどりのフェスティバルの開催や花壇等の維持管理を実施し、緑化意識の啓発や景観の向上、環境の保全を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・みどりのフェスティバルの来場者アンケートでは、緑化意識が「高まらなかった」との回答はなかったが、「どちらでもない」との回答や「無回答」が見受けられたことから、より一層の緑化意識の啓発につながるよう、実行委員会と協議しながら内容の充実を図っていく。

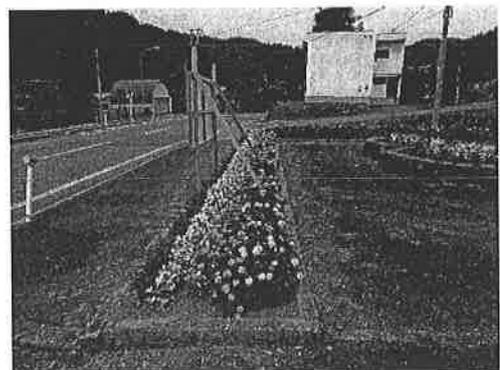
【執行残額について】

○その他	96
・実績が見込みを下回ったもの	95
委託料	95
・事業実施に伴う端数残	1
需用費	1

[第 21 回上越しみどりのフェスティバル]



[植栽管理委託：安塚区下方沿道花壇]



(単位：千円)

決算書 (P238～P239)	4款2項2目 生活環境費	所管課等	生活排水対策課
事業名	生活排水対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
23,380	23,374	5,854				17,520
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	6				6	

【目的】

- ・合併処理浄化槽の設置に対し補助を行い、下水道事業及び農業集落排水事業と併せた汚水処理の推進を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・合併処理浄化槽設置の啓発及び補助事業の周知を行い、補助金を交付することにより、下水道事業計画区域外及び農業集落排水区域外における合併処理浄化槽の設置を推進する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・合併処理浄化槽等設置費補助金

令和元年度補助実績内訳

区域	区分	補助基本額	基数	補助金額	
					うち国庫支出金
下水道事業 計画区域内	5人槽	235	11	2,585	862
	7人槽	294	7	2,058	686
	10人槽	392	1	692	230
	計		19	5,335	1,778
下水道事業 計画区域外	5人槽	352	9	3,168	1,056
	7人槽	441	22	12,732	4,244
	10人槽	558	3	2,064	688
	計		34	17,964	5,988
年度間調整分					△1,912
合計			53	23,299	5,854

※補助金額の中には 単独処理浄化槽撤去費 7基 630千円
宅内配管設置費 10基 3,000千円 を含む

決算書 (P 238～P 239)	4 款 2 項 2 目 生活環境費	所管課等	生活排水対策課
事業名	生活排水対策事業		

・補助基数の推移

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	平成 4 年度 (制度開始) ～令和元年度
補助基数	59	51	53	3, 553
補助金額	18, 430	17, 281	23, 299	1, 845, 961
合併処理浄化槽 処理人口普及率	9. 8%	9. 8%	9. 9%	
汚水処理人口 普及率※	86. 6%	87. 4%	88. 5%	

※ (下水道供用人口+農業集落排水供用人口+合併処理浄化槽処理人口) / 行政人口 × 100
 (118, 068 人) (31, 424 人) (18, 783 人) (190, 042 人)

○目標達成状況

- ・合併処理浄化槽設置の啓発活動や補助事業を周知したことにより、補助制度を利用して合併処理浄化槽 53 基の整備が促進された。

【事業の成果】

- ・汚水処理人口普及率が、平成 30 年度比 1.1 ポイント増の 88.5%となり、汚水処理の推進を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、くみ取り便槽や単独処理浄化槽の使用世帯に対し、生活排水処理の重要性の啓発及び補助事業の周知を行い、合併処理浄化槽への転換を促していく必要がある。
- ・引き続き、合併処理浄化槽等設置費補助金を交付することにより合併処理浄化槽の設置を支援し、公共下水道事業及び農業集落排水事業と併せた市全体における汚水処理の推進を図っていく。

【執行残額について】

○その他	6
・実績が見込みを下回ったため	6
旅費	5
負担金補助及び交付金	1

(単位：千円)

決算書 (P300～P303)	8款1項2目 建築指導費	所管課等	建築住宅課
事業名	建築指導費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,207	9,677	1,614	1,288		5,281 (手数料)	1,494
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	530				530	

【目的】

- ・木造住宅の耐震診断、耐震設計及び耐震改修を支援することにより、市民の防災意識の高揚を図るとともに、地震に強いまちづくりを推進する。
- ・倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去費用を助成する制度を創設し、災害時等における被害の未然防止と避難路等の通行の確保に努める。
- ・迅速かつ的確な建築確認審査を実施するほか、定期報告制度の適正な運用による建築物等の適確な維持管理を推進し、市民の生命、健康及び財産の保護を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■木造住宅耐震化支援事業 1,531

○令和元年度目標

- ・事業の積極的な活用を市民へ促すとともに、新潟県耐震改修促進協議会と連携しながら、耐震診断の普及促進や耐震化に向けた積極的なPRを行い、耐震化を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・平成30年度から拡充した耐震診断の全額補助や耐震シェルター等の補助について、広報上越等による周知のほか、耐震シェルター等については、福祉部局との連携により高齢者に対し窓口でのチラシの配布によるPRを行った。また、新潟県耐震改修促進協議会では、県のテレビ情報番組において耐震診断を広く呼び掛けた。
- ・補助金交付実績

区分	予定件数(件)	実施件数(件)	補助額
木造住宅耐震診断補助金	8	9	720
木造住宅耐震設計補助金	1	0	0
木造住宅耐震改修補助金	耐震改修	1	650
	耐震シェルター等	1	161

○目標達成状況

- ・耐震設計補助金の交付実績はなかったものの、耐震改修及び耐震シェルター等の補助金について各々1件、耐震診断補助金については、9件の補助を行い、木造住宅の耐震化を図ることができた。

決算書 (P300～P303)	8款1項2目 建築指導費	所管課等	建築住宅課
事業名	建築指導費		

・木造住宅耐震化支援事業交付実績

(単位：件)

年度 区分	H16～H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
耐震診断	396	11	13	9	2	12	9
耐震設計	28	2	3	0	0	1	0
耐震改修	29	4	0	1	0	0	1
耐震シェルター等	-	-	-	-	-	0	1

■ブロック塀等撤去支援事業 2,865

○令和元年度目標

- ・避難路等に倒壊するおそれのあるブロック塀等の削減を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・早急に安全措置を促すため、令和2年度までの2か年の時限的な事業として新設したブロック塀等撤去の補助事業については、広報上越等による周知のほか、小学校の通学路の点検にあわせて危険なブロック塀等の情報提供を受け、管理者等に対し注意喚起や補助制度の周知を行った。
- ・補助金交付実績

区分	予定件数(件)	実施件数(件)	補助額
ブロック塀等撤去補助金	20	25	2,865

○目標達成状況

- ・予算額の範囲内で予定件数を上回る25件の補助金の交付を行い、避難路等に倒壊するおそれのあるブロック塀等が削減されたことにより、災害時等における被害の未然防止策として寄与することができた。

■建築基準法の運用及び建築確認申請業務 5,281

○実施内容、これまでの経過等

- ・建築確認申請受付件数(建築物)

(単位：件)

年度 受付機関	H27	H28	H29	H30	R1
上越市	236	205	186	185	141
指定確認検査機関	629	684	669	761	735
合計	865	889	855	946	876

決算書 (P300～P303)	8款1項2目 建築指導費	所管課等	建築住宅課
事業名	建築指導費		

・ 建築確認申請受付件数比 (単位：%)

年度 地域	H27		H28		H29		H30		R1	
	特	指	特	指	特	指	特	指	特	指
上越市	27	73	23	77	22	78	20	80	16	84
新潟県	16	84	14	86	12	88	11	89	10	90
全国	13	87	12	88	11	89	10	90	9	91

※「特」は特定行政庁、「指」は指定確認検査機関

※「R1」の新潟県及び全国の割合は令和元年12月31日現在のもの

【事業の成果】

- ・ 木造住宅耐震化支援事業の継続、ブロック塀等撤去支援事業の創設及び建築確認申請等における建築基準法の的確な運用により、建築物の安全性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 地震に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震化の重要性や必要性、補助事業について、広く周知に努めているが、昭和55年以前に建築された建物は、既に40年以上経過しており、耐震化の改修に多額の費用を要することや所有者の高齢化などの理由により、耐震改修が進まないものと推察している。
- ・ 平成30年度から拡充した耐震診断の全額補助により、診断実施件数が平成29年度に比べ大きく増加したことから、引き続き、耐震診断を通じて市民の防災意識の高揚に向けた情報発信を行い、地震に強い住環境の整備を進める。
- ・ ブロック塀等撤去支援事業については、令和2年度までの2か年の時限としていることから、危険なブロック塀等の注意喚起を含め、引き続き広く周知していく。
- ・ 今後も建築基準法の的確な運用により、建築物の安全性を確保する。

【執行残額について】

○その他	530
・実績が見込みを下回ったもの	530
報酬	15
共済費	1
旅費	146
需用費	16
役務費	11
委託料	6
使用料及び賃借料	20
負担金補助及び交付金	315

(単位：千円)

決算書 (P 302～P 303)	8 款 2 項 1 目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	道路管理総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
65,699	60,127				751 (手数料、財産収入、繰越金、諸収入)	59,376
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	5,572			1,339	4,233	

【目的】

- ・市道を適切に管理するため、市道敷地内の所有権移転が未了の土地において所有者及び権利について調査を行うほか、用地測量業務などを実施し、計画的に土地の所有権の移転を行う。
- ・道路法に基づく道路台帳（調書及び図面）の整備を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■未登記土地の処理 10,769

○令和元年度目標

- ・40筆の測量・調査業務委託を早期に発注するとともに、測量が不要な187筆と合わせた227筆の所有権移転登記を年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・分筆登記が必要な土地については、測量等を実施した後、所有権移転登記を行い、未登記を解消する。
- ・主な経費

項目	令和元年度		内容
	発注件数	金額	
測量委託料	15	6,137	用地測量業務
調査業務委託料	15	4,632	用地調査業務
合計	30	10,769	

○目標達成状況

- ・測量・調査業務委託は、計画どおり早期に発注することができた。
- ・所有権移転登記は、令和元年度の測量成果27筆と測量が不要な108筆を合わせた135筆となり、目標を達成することができなかった。

決算書 (P 302～P 303)	8 款 2 項 1 目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	道路管理総務費		

■道路台帳整備委託 14,925

○実施内容、これまでの経過等

- ・道路法に基づく道路台帳調書及び地方交付税算定調書等作成
- ・道路台帳附図の新規作成及び修正
- ・主な経費

項目	令和元年度		内容
	発注件数	金額	
道路台帳整備委託料	1	5,225	道路台帳調書等作成業務
	6	9,700	道路台帳附図補正業務
合計	7	14,925	

【事業の成果】

- ・未登記土地の処理については、令和元年度に測量・調査を実施したうちの27筆と測量が不要な108筆のほか、平成28年度から平成30年度に測量・調査を実施したうちの136筆を合わせた271筆の所有権移転登記を完了した。また、共有名義土地109筆の持ち分の一部について所有権移転登記を完了した。
- ・道路台帳を補正することにより、市民等が現況に即した道路台帳附図を閲覧できるようにした。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・未登記土地の処理については、相続未了の土地や換地更正及び地図訂正が必要となる土地があるなど、調査や交渉、事務手続き等に多くの日数を要するところであるが、今後も計画的に処理を進めていく。

【執行残額について】

○入札差金	1,339
需用費	93
委託料	1,187
備品購入費	59
○その他	4,233
・実績が見込みを下回ったもの	4,218
報酬	51
共済費	18
旅費	252
需用費	847
役務費	5
委託料	2,060
使用料及び賃借料	238
公有財産購入費	665
負担金補助及び交付金	82

決算書 (P 302～P 303)	8 款 2 項 1 目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	道路管理総務費		

・事業実施に伴う端数残	15
報酬	1
共済費	1
旅費	1
需用費	1
役務費	3
委託料	3
使用料及び賃借料	4
公課費	1

(単位：千円)

決算書 (P302～P303)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	私道整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,604	2,167					2,167
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	437		437			

【目的】

- ・私道の整備に係る経費の一部を補助することにより、市民の生活環境の向上を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・予定する私道整備に対して、適切な補助金交付事務を行うとともに、降雪前までに整備が完了できるよう、申請者に対し指導する。

○実施内容、これまでの経過等

・事業内容

施工地		事業内容			事業費(円)	補助金(円)
		工種	延長(m)	幅員(m)		
合併前 上越市	大豆一丁目	側溝改良 舗装修繕	6.2 2.2	0.5 0.8	1,220,400	488,000
	大和四丁目	側溝改良	12.2	0.3		
柿崎区	上直海	舗装新設	56.0	2.6	728,093	291,000
中郷区	岡沢	道路改良	52.2	4.0	3,240,000	1,000,000
合計 4件			128.8	—	6,225,293	2,167,000

・過去5年間の実施状況

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	4	10	11	5	4
補助額(千円)	2,039	5,918	5,156	2,303	2,167
延長(m)	141.6	360.9	548.0	288.1	128.8

決算書 (P302～P303)	8款2項1目 道路橋梁総務費	所管課等	道路課
事業名	私道整備事業		

○目標達成状況

- ・2町内で住民合意が困難になり事業を取り止めたが、事業を実施した4町内においては、降雪前に整備が完了したことから、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・補助金を交付することにより、私道の整備が促進され、生活環境の向上を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市民の生活環境の向上を図るため、私道整備事業補助金制度の利用が促進されるよう周知に努めていく。

【執行残額について】

○事業未実施	437
・事業取り止めによるもの	437
負担金補助及び交付金	437

〔私道整備事業補助金を活用した道路改良工事(中郷区岡沢地内)〕



着手前



竣工

(単位：千円)

決算書 (P304～P305)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
733,754	706,016	5,730		123,100	3,456 (財産収入、諸収入)	573,730
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
23,050	4,688			876	3,812	

【目的】

- ・道路パトロールや市民からの通報等により発見した損傷箇所の修繕を行うほか、道路清掃、除草等を実施し、交通に支障を及ぼさないよう適切な維持管理を行う。
- ・また、市道の草刈りや側溝清掃等を地域との協働作業により実施し、道路維持費の縮減を図る。
- ・直江津駅・黒井駅の自由通路、アンダーパス等の道路施設の適切な保守管理を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■道路維持修繕・委託業務 677,700

○令和元年度目標

- ・道路パトロールや市民からの通報により発見した損傷箇所については、即日に安全対策を講じ、早期の復旧を図る。
- ・外側線修繕工事については、早期に発注し、6月末までに完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(3月補正追加)

○実施内容、これまでの経過等

- ・道路パトロールや市民、関係機関からの通報等により発見した損傷箇所の修繕工事を速やかに実施した。
- ・道路照明施設の修繕計画を策定するため点検を実施した。
- ・道路及び側溝清掃のほか、草刈りや街路樹の剪定等を行った。
- ・地域が行う各種作業がスムーズに実施できるよう、必要な機材を貸し出した。
- ・外側線等の摩耗が著しい路線について、計画的に引き直し修繕を行った。
- ・舗装の劣化や損傷により、安全な通行に支障のある路線について、計画的に修繕を行った。
- ・通学路に指定されている市道の交通安全対策を実施した。

決算書 (P304～P305)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

・主な経費

項目	令和元年度		内容
	件数	金額	
施設管理委託料	24	128,649	道路パトロール等
街路樹管理委託料	71	35,232	街路樹の剪定、冬囲い、害虫駆除等
道路清掃管理委託料	26	8,323	幹線道路の清掃
道路側溝清掃管理委託料	25	8,814	道路側溝の清掃
道路草刈業務委託料	138	35,990	市道沿線の草刈り
調査業務委託料	4	9,673	道路照明施設の点検
市内一円道路修繕工事	460	277,494	舗装、外側線、側溝、ガードレール等の修繕
道路維持修繕工事	15	133,077	計画的舗装修繕
交通安全対策工事	4	9,666	通学路におけるグリーンラインの設置等
合計	767	646,918	

○目標達成状況

- ・道路パトロールや市民からの通報等により発見した損傷箇所、一般交通に支障を来す箇所については、即日に安全対策を講じ速やかに道路修繕を行うことができた。
- ・外側線修繕は、6月末までに完了し目標を達成することができた。
- ・国の補正予算活用分 33 か所の交通安全対策工事については、令和元年度内に発注することができた。

■その他道路管理業務 28,316

○実施内容、これまでの経過等

- ・直江津駅及び黒井駅の自由通路、市道アンダーボックス等の道路施設を適切に管理した。
- ・高速道路ナンバリング導入に伴い、道路案内標識の高速道路標示等を修正した。
- ・主な経費

項目	令和元年度		内容
	件数	金額	
排水施設等電気料金	20	7,878	直江津駅及び黒井駅自由通路、市道アンダーボックス等の電気料金
施設管理委託料	22	15,230	直江津駅及び黒井駅自由通路、市道アンダーボックス等の道路施設管理
市内一円道路修繕工事	3	2,091	道路案内標識修正工事、直江津駅南北自由通路漏水修繕工事等
合計	45	25,199	

決算書 (P 304～P 305)	8 款 2 項 2 目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	道路維持費		

・道路維持費の推移

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
783, 712	987, 807	706, 016

【事業の成果】

- ・道路損傷箇所の修繕、道路清掃及び除草等を実施したほか、摩耗が著しい外側線について、計画的に引き直し修繕を行うことにより、道路の保全及び円滑な交通を確保し、安全・安心な道路環境を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・道路舗装の経年劣化や外側線等の摩耗の著しい路線が増加していることから、引き続き計画的な修繕に努めていく必要がある。
- ・道路管理瑕疵による事故発生を防ぐため、道路維持管理業務委託によるパトロールと職員によるパトロールを実施し、損傷箇所の早期発見・早期修繕に努めていく必要がある。

【執行残額について】

○入札差金	876
委託料	876
○その他	3, 812
・実績が見込みを下回ったもの	3, 809
報酬	385
共済費	368
報償費	136
旅費	30
需用費	390
役務費	6
委託料	2, 012
使用料及び賃借料	46
工事請負費	423
原材料費	13
・事業実施に伴う端数残	3
委託料	1
使用料及び賃借料	2

(単位：千円)

決算書 (P304～P305)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	上越妙高駅周辺施設維持管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
45,127	43,563				570 (財産収入、諸収入)	42,993
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,564		380	241	943	

【目的】

- 自由通路、昇降施設及び駅前広場等の上越妙高駅周辺の公共施設について、維持管理を適切に行い、駅利用者に安全・安心、かつ快適な利用環境を提供する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- 委託料 22,964
自由通路エレベータ・エスカレータ保守点検業務
自由通路エスカレータ遠隔監視業務
自由通路及び東口・西口駅前広場、駅前公園、駐車場、公衆トイレ清掃業務
東口・西口駅前広場等の植栽管理業務ほか
- 工事請負費 349
上越妙高駅東口エレベータインターホン設置工事
東口ロータリー路面標示修繕工事
- 負担金補助及び交付金 9,180
事務所解体工事負担金

【事業の成果】

- 上越妙高駅周辺の公共施設を適切に維持管理し、駅利用者に安全・安心、かつ快適な利用環境を提供した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- 駅利用者から安全・安心、かつ快適に施設を使用していただくため、引き続き適切な維持管理を行う。

【執行残額について】

○事業未実施	380
委託料	88
使用料及び賃借料	292

決算書 (P304～P305)	8款2項2目 道路維持費	所管課等	道路課
事業名	上越妙高駅周辺施設維持管理費		

○入札差金	241
需用費	99
委託料	142
○その他	943
・実績が見込みを下回ったもの	942
需用費	686
委託料	140
工事請負費	116
・事業実施に伴う端数残	1
役務費	1

(単位：千円)

決算書 (P304～P305)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	八千浦地区周回道路新設事業費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
89,783	32,866				32,667 (繰入金)	199
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
56,448	469	427			42	

【目的】

- ・上越火力発電所の建設に伴う八千浦地区の地域振興事業として、生活道路や雨水排水路の整備を推進する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・北側周回道路については、道路改良工事及び物件移転補償を年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・道路改良工事 L=669m
- ・防風柵設置工事 L=123m

○目標達成状況

- ・道路改良工事及び防風柵設置工事において、切土区間の法面保護工法の検討に日数を要したことから、年度内に完了ができず目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・北側周回道路の未整備区間に着手し、八千浦地区の生活道路整備の推進を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・北側周回道路の整備完了を目指し、関係機関等と調整を図りながら進めていく必要がある。

【執行残額について】

○事業費節減	427
委託料	427
○その他	42
・実績が見込みを下回ったもの	39
旅費	11
需用費	26
使用料及び賃借料	2

決算書 (P304～P305)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	河川海岸砂防課
事業名	八千浦地区周回道路新設事業費		

- ・事業実施に伴う端数残 3
- 報酬 1
- 需用費 1
- 工事請負費 1

(単位：千円)

決算書 (P304～P307)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,803,238	1,458,499	776,754		629,200	23,434 (繰越金)	29,111
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
327,471	17,268		10,846	4,443	1,979	

【目的】

- ・狭隘道路の拡幅改良や通学路における歩道新設、老朽化が著しい道路側溝の改良など、市道の整備を推進し、市民の生活環境の向上を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・工事については、早期に発注し、降雪前の11月末までに完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(3月補正追加)

○実施内容、これまでの経過等

◇平成30年度繰越明許分

地区	路線名	施工地	主な執行額		内容	
合併前 上越市	三ツ橋三田新田線 (都市計画道路黒井藤野新田線)	三田新田ほか	委託料	9,538	不動産鑑定	一式
			工事請負費	172,400	用地測量・調査	一式
			公有財産購入費	5,465	道路改良	L=262m
	鴨島団地34号線ほか	鴨島三丁目ほか	補償、補填及び賠償金	43,507	用地取得	A=1,309 m ²
			工事請負費	22,886	物件補償	一式
	四ヶ所大日線	大日	補償、補填及び賠償金	2,795	側溝改良	L=349m
			工事請負費	44,815	物件補償	一式
下新町上野田線	新保古新田ほか	道路改良		L=280m		
		委託料	469	不動産鑑定	一式	
平山団地1号線ほか	大貫四丁目	公有財産購入費	629	用地取得	A=281 m ²	
		工事請負費	13,020	側溝改良	L=300m	
南高田町9号線ほか	南高田町	工事請負費	32,494	側溝改良	L=502m	
		補償、補填及び賠償金	1,638	物件補償	一式	
春日山町団地南幹線ほか	春日山町三丁目	工事請負費	46,379	側溝改良	L=1,003m	
		補償、補填及び賠償金	1,792	物件補償	一式	

決算書 (P304~P307)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

地区	路線名	施工地	主な執行額		内 容	
合併前 上越市	春日山町三・一丁目線ほか	春日山町三丁目	工事請負費	21,066	側溝改良	L=411m
			補償、補填及び賠償金	1,376	物件補償	一式
	上越三和北線	上千原	工事請負費	40,575	歩道新設	L=250m
	大和五丁目団地1号線ほか	大和五丁目	工事請負費	7,211	側溝改良	L=186m
	東城町三丁目幹線ほか	東城町三丁目	工事請負費	25,306	側溝改良	L=545m
			補償、補填及び賠償金	3,659	物件補償	一式
	東城町一丁目6号線ほか	東城町一丁目	工事請負費	24,941	側溝改良	L=488m
	小町環状線ほか	春日新田二丁目ほか	委託料	7,943	用地測量・調査	一式
	南方線	南方	委託料	2,097	用地測量・調査	一式
			工事請負費	5,590	道路改良	L=38m
			公有財産購入費	426	用地取得	A=115 m ²
			補償、補填及び賠償金	907	物件補償	一式
	南本町二丁目1号線	南本町二丁目	委託料	2,191	不動産鑑定	一式
			工事請負費	2,803	用地測量・調査	一式
			公有財産購入費	1,051	道路改良	L=21m
			補償、補填及び賠償金	2,407	用地取得	A=30 m ²
北城神明宮線	北城町一丁目ほか	工事請負費	13,366	側溝改良	L=255m	
		補償、補填及び賠償金	951	物件補償	一式	
戸野目南新保線	戸野目	工事請負費	60,009	路肩拡幅	L=310m	
東本町通り線	東本町五丁目ほか	工事請負費	29,180	側溝改良	L=542m	
藤野新田塩屋新田線	藤野新田	工事請負費	25,602	側溝改良	L=473m	
飯御殿山町線	飯ほか	委託料	365	不動産鑑定	一式	
		公有財産購入費	1,041	用地取得	A=112 m ²	
高田郵便局西通線	西城町二丁目	工事請負費	9,940	側溝改良	L=154m	
西本町一丁目4号線	西本町一丁目	委託料	6,089	測量設計	一式	
		公有財産購入費	2,444	用地測量・調査	一式	
		補償、補填及び賠償金	5,380	不動産鑑定	一式	
				用地取得	A=118 m ²	
北本町春日山町線	春日山町一丁目	委託料	1,760	物件補償	一式	
		公有財産購入費	2,632	建物調査	一式	
		補償、補填及び賠償金	9,297	用地取得	A=89 m ²	
駒林東中島線	駒林	委託料	784	物件補償	一式	
		公有財産購入費	416	用地測量・調査	一式	
				用地取得	A=87 m ²	

決算書 (P304～P307)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

地区	路線名	施工地	主な執行額		内 容	
合併前 上越市	中田原高田城 址公園線	南高田町ほ か	公有財産購入費	744	用地取得 物件補償	A=20 m ² 一式
			補償、補填及び賠償金	2,067		
	北本町四丁目 飯線(踏切拡幅)	飯ほか	委託料	13,470	測量設計	一式
柿崎区	新田線	柿崎	工事請負費	36,354	道路改良 側溝改良 物件補償	L=146m L=213m 一式
			補償、補填及び賠償金	2,141		
三和区	今保北代線	今保	委託料	1,123	用地測量・調査	一式
名立区	旭1号線	名立大町	公有財産購入費	110	用地取得	A=37 m ²
			委託料	97	土質調査	一式
名立区	旭1号線	名立大町	工事請負費	8,633	道路改良	L=93m
			補償、補填及び賠償金	479	物件補償	一式

◇令和元年度分

地区	路線名	施工地	主な執行額		内 容	
合併前 上越市	三ツ橋三田新 田線 (都市計画道路黒 井藤野新田線)	三田新田ほ か	委託料	9,195	用地測量・調査	一式
			工事請負費(前払金)	34,800	橋梁下部工	一式
			公有財産購入費	24,550	用地取得	A=2,859 m ²
			補償、補填及び賠償金	45,211	物件補償	一式
	北本町春日山 町線	春日山町一 丁目	委託料	1,280	不動産鑑定 物件調査	一式 一式
			工事請負費	18,087	歩道新設	L=138m
			公有財産購入費 補償、補填及び賠償金	1,314 7,526	用地取得 物件補償	A=41 m ² 一式
	三交直江津五 智環状線 (歩道新設)	東雲町一丁 目	委託料	170	不動産鑑定	一式
	駒林東中島線	駒林	工事請負費(前払金)	6,200	歩道新設	L=88m
三交直江津五 智環状線 (側溝改良)	五智三丁目	工事請負費	16,102	道路改良	L=110m	
		補償、補填及び賠償金	7,524 1,073	側溝改良 物件補償	L=141m 一式	
中田原高田城 址公園線	南高田町ほ か	委託料	315,814	用地測量・調査 施行委託料	一式 一式	
		使用料及び賃借料	159	土地使用料	一式	
		工事請負費	10,580	歩道新設	L=45m	
戸野目下稲田 線	稲田三丁目	工事請負費(前払金)	6,600	側溝改良	L=275m	
小町環状線ほ か	春日新田二 丁目	工事請負費	38,195	側溝改良	L=513m	

決算書 (P304～P307)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

地区	路線名	施工地	主な執行額		内 容	
合併前 上越市	南方線	南方	工事請負費(前払金)	3,100	道路改良	L=56m
			補償、補填及び賠償金	1,084	物件補償	一式
	大和小前通線	大和一丁目	委託料	170	不動産鑑定	一式
			工事請負費	6,057	道路改良	L=43m
			公有財産購入費	2,300	用地取得	A=79 m ²
			補償、補填及び賠償金	224	物件補償	一式
	北本町四丁目 飯線(踏切拡幅)	飯ほか	委託料(前払金)	1,000	用地測量	一式
	西ヶ窪浜夷浜 線ほか	夷浜	工事請負費	11,449	側溝改良	L=176m
	南本町二丁目 10号線	南本町二丁目	工事請負費	4,601	道路改良	L=55m
	北本町四丁目 飯線(側溝改良)	飯	工事請負費	5,293	側溝改良	L=105m
			補償、補填及び賠償金	479	物件補償	一式
	春日山荘東通 線	春日山町一丁目	工事請負費	9,331	側溝改良	L=145m
			補償、補填及び賠償金	2,393	物件補償	一式
新光町三丁目1 号線	新光町三丁目	工事請負費	12,100	側溝改良	L=138m	
東城町三丁目 18号線	東城町三丁目	工事請負費	3,249	側溝改良	L=52m	
中央四・五丁目 線	中央四丁目	工事請負費	5,894	側溝改良	L=101m	
大和三南高田 線	南高田町ほか	委託料	14,074	土質調査 測量設計	一式 一式	
東中島三分一 橋線	上五貫野ほか	委託料	208	不動産鑑定	一式	
		公有財産購入費	142	用地取得	A=47 m ²	
		補償、補填及び賠償金	424	物件補償	一式	
平山団地1号線 ほか	大貫四丁目	工事請負費	4,764	側溝改良	L=85m	
柿崎区	坂田村中線	坂田新田	工事請負費	8,426	道路改良	L=23m
	坂田池尻線	坂田新田	工事請負費	4,892	側溝改良	L=94m
	裏浜線	柿崎	工事請負費	10,208	側溝改良	L=171m
三和区	今保北代線	今保ほか	委託料	361	用地測量・調査	一式
			公有財産購入費	160	用地取得	A=200 m ²
		補償、補填及び賠償金	4,431	物件補償	一式	
	牛町鴨井線	鴨井	工事請負費	9,340	歩道新設	L=60m

決算書 (P304～P307)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

○目標達成状況

- ・当初予算に係る工事22か所のうち、駒林東中島線ほか7か所は降雪前の11月末までに完了することができたが、北本町春日山町線ほか7か所は関連事業との調整に時間を要したこと等から、令和元年度末の完了となり、目標を達成することができなかった。
- ・三交直江津五智環状線ほか5か所は、用地取得及び物件補償に伴う関係者との交渉や関連事業との調整に日数を要したことから繰越しとなった。
- ・国の補正予算活用分15か所の工事等については、計画どおり発注し、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・生活関連道路の整備を実施し、市民の安全な通行の確保及び日常生活における生活環境の改善を図ることができた。

〔道路改良 駒林東中島線（駒林地内）〕



着手前



竣工

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・用地取得及び物件補償に伴う関係者との交渉や関連事業との調整に日数を要したことから、降雪前に完了できない箇所があったため、早期に協議等を進め、事業の適切な進捗管理に努めていく必要がある。

【執行残額について】

○事業未実施	10,846
工事請負費	10,846
○入札差金	4,443
委託料	366
工事請負費	4,077

決算書 (P304～P307)	8款2項3目 道路新設改良費	所管課等	道路課
事業名	道路整備事業		

○その他	1,979
・実績が見込みを下回ったもの	1,979
・役務費	42
・委託料	587
・使用料及び賃借料	81
・工事請負費	165
・公有財産購入費	755
・補償、補填及び賠償金	349

(単位：千円)

決算書 (P306～P307)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事・業名	橋梁維持費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
728,248	436,948	238,948		157,300	10,834 (繰越金)	29,866
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
291,297	3				3	

【目的】

- ・橋梁の損傷箇所の修繕を行い、長寿命化を図るとともに、一般交通に支障を及ぼさないよう橋梁の維持管理を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・302橋の定期点検を早期に発注し、12月末までに完了する。
- ・50橋の修繕工事を計画的に発注し、非出水期間での施工が条件となる8橋については河川占用期間内に、その他の工事については12月末までに完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。(3月補正追加)

○実施内容、これまでの経過等

◇平成30年度繰越明許分(修繕工事)

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内容
合併前 上越市	春日山橋 (富岡木田線)	木田ほか	工事請負費 92,201	塗装塗替え 一式 伸縮装置取替え
	三分一橋 (東中島三分一橋線)	下五貫野ほか	工事請負費 66,293	断面修復 伸縮装置取替え 一式 防護柵取替え 橋面防水
	高土橋 (高土橋線)	高土町一丁目 ほか	工事請負費 20,970	伸縮装置取替え 防護柵取替え 一式 橋面防水
頸城区	城野腰橋 (松橋城野腰線)	松橋	工事請負費 6,523	断面修復 塗装塗替え 一式 防護柵取替え
名立区	須田橋 (川東線)	田野上	工事請負費 22,203	塗装塗替え 伸縮装置取替え 一式 橋面防水

決算書 (P306～P307)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

◇令和元年度分（修繕工事）

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内 容
合併前 上越市	無名橋 (国府一丁目11号線)	国府一丁目	工事請負費 1,210	断面修復 一式
	無名橋 (春日新田五丁目16号線)	春日新田五丁目	工事請負費 756	断面修復 一式
	無名橋 (北消防署東通線)	春日新田二丁目	工事請負費 745	断面修復 一式
	無名橋 (春日新田一丁目9号線)	春日新田一丁目	工事請負費 1,296	断面修復 ひび割れ補修 一式
	無名橋 (安江松村新田線)	松村新田	工事請負費 1,188	断面修復 一式
	無名橋 (新町橋線)	土橋	工事請負費 913	ひび割れ補修 一式
	無名橋 (栄町二丁目8号線)	栄町二丁目 ほか	工事請負費 767	断面修復 一式
	無名橋 (東中学校国道北線)	安江	工事請負費 1,274	断面修復 ひび割れ補修 一式
	無名橋 (石橋一丁目1号線)	栄町二丁目 ほか	工事請負費 950	断面修復 一式
	古川橋 (下門前区画2号線)	下門前	工事請負費 842	ひび割れ補修 一式
	春日山橋 (富岡木田線)	木田ほか	工事請負費 (前払金) 51,200	塗装塗替え(前払金) 伸縮装置取替え(前払金) 一式
	無名橋 (上門前大和線)	稲荷	工事請負費 1,298	断面修復 ひび割れ補修 一式
	無名橋 (中江地内線)	野尻	工事請負費 1,298	断面修復 ひび割れ補修 一式
	無名橋 (国道石橋新田線)	石橋新田	工事請負費 748	断面修復 一式
	三分一橋 (東中島三分一橋線)	下五貫野ほか	工事請負費 (前払金) 28,900	塗装塗替え(前払金) 一式
	蕨之橋 (下綱子中桑取線)	中桑取	工事請負費 3,829	塗装塗替え 一式
	無名橋 (福田春日新田線)	春日新田二丁目	工事請負費 1,474	断面修復 一式
	無名橋 (小猿屋小富岡線)	三田ほか	工事請負費 924	断面修復 一式
	無名橋 (栄町・石橋一丁目2号線)	石橋一丁目	工事請負費 985	ひび割れ補修 一式
	無名橋 (東雲町4号線)	東雲町一丁目	工事請負費 737	断面修復 一式

決算書 (P 306～P 307)	8 款 2 項 4 目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額	内 容
合併前 上越市	無名橋 (御館団地環状線)	石橋二丁目	工事請負費 699	断面修復 一式
柿崎区	新川井橋 (川井木崎山線)	柿崎ほか	工事請負費 17,131	断面修復 ひび割れ補修 伸縮装置取替え 防護柵取替え 橋面防水 一式
大潟区	無名橋 (大潟 22 号線)	里鶺島新田	工事請負費 505	断面修復 ひび割れ補修 一式
	潟川 5 号橋 (大潟 3069 号線)	蜘蛛ヶ池	工事請負費 176	取付部修繕 一式
	重併橋 (大潟 3001 号線)	潟守新田ほか	工事請負費 (前払金) 8,000	断面修復(前払金) ひび割れ補修(前払金) 塗装塗替え(前払金) 伸縮装置取替え(前払金) 一式
頸城区	無名橋 (手宮線)	手宮	工事請負費 1,298	断面修復 ひび割れ補修 一式
	無名橋 (工業団地 2 号線)	上吉ほか	工事請負費 847	断面修復 一式
	無名橋 (下吉新田線)	下吉	工事請負費 759	断面修復 一式
	無名橋 (高速側道東線)	島田ほか	工事請負費 1,298	断面修復 ひび割れ補修 一式
	無名橋 (高速側道東線)	手宮ほか	工事請負費 1,298	断面修復 ひび割れ補修 一式
	無名橋 (舟津手宮線)	手宮	工事請負費 2,365	断面修復 ひび割れ補修 一式
板倉区	無名橋 (山越谷内線)	山越	工事請負費 649	ひび割れ補修 一式
名立区	丹蔵川橋 (山王線)	名立小泊	工事請負費 1,045	断面修復 ひび割れ補修 一式
	新赤野俣橋 (脇の谷道下線)	赤野俣	工事請負費 946	ひび割れ補修 一式
	名立橋 (名立大町小泊線)	名立大町	工事請負費 33,263	断面修復 防護柵取替え 伸縮装置取替え 一式

決算書 (P 306～P 307)	8 款 2 項 4 目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

◇令和元年度分（その他業務）

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額		内 容	
安塚区	芹田橋 (安塚石橋和田線)	小黒	委託料	2,551	実施設計	一式
浦川原区	中央橋 (藤塚線)	長走	委託料	3,578	実施設計	一式
	横住橋 (上横住線)	横住	委託料	3,210	実施設計	一式
大潟区	潟町歩道橋 (大潟 329 号線)	潟町	委託料	871	物件調査	一式
中郷区	稲荷山橋 (稲荷山松ヶ峯線)	稲荷山ほか	委託料	3,189	実施設計	一式
清里区	岡川橋 (岡野馬屋中央線)	岡野町	委託料	5,228	実施設計	一式
市内 一円	上重川橋ほか (上越三和北線)	横曾根ほか	委託料	25,686	橋梁点検	300 橋
	橋梁長寿命化修繕計画策定		委託料	11,990	計画策定	一式

○目標達成状況

- ・橋梁点検については、ほ場整備事業により除却された 2 橋を減じた、300 橋の点検を 12 月末までに実施することができた。
- ・修繕工事については、50 橋のうち 37 橋の工事発注を行ったが、発注した工事において緊急性の高い損傷箇所が新たに確認され、工事費の増額が必要になったことから、13 橋が未発注となり目標を達成できなかった。
- ・非出水期間での施工が条件となる 8 橋については、河川占用期間内に現場が完了し、目標を達成することができた。
- ・その他の工事については、22 橋が 12 月末までに完了したが、7 橋が令和元年度末の完了となったため、目標を達成することができなかった。
- ・国の補正予算活用分の実実施設計 12 件については、令和元年度中に発注を行った。

【事業の成果】

- ・橋梁点検により橋梁の状況を把握し、早期に措置が必要な橋梁の修繕工事を実施したことにより、橋梁の長寿命化及び安全性の向上を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・橋梁の長寿命化と維持費の縮減を図るため、引き続き定期点検を実施していく必要がある。
- ・修繕工事を計画どおり進めていくため、修繕箇所の損傷状況を的確に把握し、より正確な修繕費用の算出を行っていく必要がある。

決算書 (P306～P307)	8款2項4目 橋梁維持費	所管課等	道路課
事業名	橋梁維持費		

【執行残額について】

○その他	3
・事業実施に伴う端数残	3
委託料	1
工事請負費	2

(単位：千円)

決算書 (P306～P307)	8款2項5目 橋梁新設改良費	所管課等	道路課
事業名	橋梁整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
362,297	174,522	95,466		70,100	7,151 (繰越金)	1,805
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
180,982	6,793			6,789	4	

【目的】

- ・狭隘な橋梁、老朽化した橋梁の拡幅架け替えや、災害発生時における地域の分断を防止するなど通行の確保が必要とされる橋梁の耐震化を図り、災害に強く快適に通行できる橋梁を確保する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・工事については、早期に発注し、河川占用協議により許可を受けた期間内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

◇平成30年度繰越明許分

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額		内 容	
合併前 上越市	有間川橋 (有間川橋国道線)	有間川	工事請負費	17,010	旧橋撤去	一式
	春日山橋 (富岡木田線)	木田ほか	工事請負費	8,558	耐震補強 (変位制限装置)	N=2 基
	稲田橋 (四辻町稲田橋線)	稲田二丁目 ほか	工事請負費	129,408	耐震補強 (橋脚)	N=1 基

◇令和元年度分

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	主な執行額		内 容	
合併前 上越市	有間川橋 (有間川橋国道線)	有間川	工事請負費(前払金)	16,700	旧橋撤去	一式
			補償、補填及び賠償金	1,147	取付護岸	A=64 m ²
	稲田橋 (四辻町稲田橋線)	稲田二丁目 ほか	委託料	1,699	物件補償	一式
					河川占用協議資料 作成	一式
					市場価格調査	一式

決算書 (P 306～P 307)	8 款 2 項 5 目 橋梁新設改良費	所管課等	道路課
事業名	橋梁整備事業		

○目標達成状況

- ・工事を早期に発注したことにより、河川占用許可を受けた工事期間内に現場を完了し、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・橋梁の整備により、市民の安全な通行及び災害に強い橋梁の確保を図ることができた。

〔稲田橋 四辻町稲田橋線（稲田二丁目ほか地内）〕



竣工

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・橋梁工事については、河川内の施工期間が 10 月から 5 月までの非出水期に限定されることから、適切な工程管理に努めていく必要がある。

【執行残額について】

○入札差金	6,789
委託料	235
工事請負費	6,554
○その他	4
・実績が見込みを下回ったもの	4
委託料	3
補償、補填及び賠償金	1

(単位：千円)

決算書 (P306～P309)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	消融雪施設管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
228,007	205,356	67,873	20,196	13,900	262 (繰越金、諸収入)	103,125
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
438	22,213			2,155	20,058	

【目的】

- ・冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、消雪パイプの更新を行うとともに、消融雪施設が所期の能力を発揮し良好に稼働するよう、適切な維持管理を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■消融雪施設管理 100,676 消融雪施設修繕工事 17,600

○令和元年度目標

- ・消融雪施設の冬期前点検と冬期間における迅速な修繕を行うなど、適切な維持管理と効果的な運用を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・市道の消雪パイプ、流雪溝等の冬期前点検、調整及び清掃、冬期中の保守管理を実施した。
- ・冬期前点検により不具合が発覚した施設及び冬期中に故障が発生した施設について、修繕を実施した。

・消融雪施設の管理延長

(単位：km)

区分	合併前 上越市	浦川原区	柿崎区	大潟区	頸城区	中郷区	板倉区	清里区	三和区	合計
消雪パイプ	24.7		1.6	1.0	0.5	22.2	12.0	9.0	1.7	72.7
流雪溝	11.1	0.6	0.5			5.1				17.3
無散水融雪	0.6							0.04		0.64

・令和元年度の修繕件数

(単位：件)

区分	合併前 上越市	浦川原区	柿崎区	大潟区	頸城区	中郷区	板倉区	清里区	三和区	合計
消雪パイプ	18		1	1		8		5	3	36
流雪溝	8									8
無散水融雪	2									2

決算書 (P306～P309)	8 款 2 項 6 目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	消融雪施設管理費		

○目標達成状況

- ・消融雪施設の冬期前点検を確実に実施するとともに、不具合の生じた施設を迅速に修繕することにより、冬期中にわたって消融雪機能が十分発揮できる良好な状態を保持することができた。
- ・市街地の消雪パイプ、流雪溝ポンプを集中管理システムを用いて一元的に監視、制御することにより、散水量の平準化や節水対策を行うなど効果的な運用を図ることができた。

■消雪パイプリフレッシュ工事 87,080

○令和元年度目標

- ・消融雪施設整備計画に基づき、効率的かつ効果的な整備を行う。

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和元年度の実施内容

地区	路線名	施工地	執行額	内容	備考
中郷区	金山中央1号線	二本木	工事請負費 26,053	消雪井戸更新 1 箇所	完了
	岡沢中央線	岡沢	工事請負費 32,791	消雪井戸更新 1 箇所	完了
板倉区	長嶺・田井線 ほか	高野	工事請負費 16,936	消雪パイプ更新 L=340m	継続
清里区	今曾根線	今曾根	工事請負費 11,300	消雪井戸更新 1 箇所	完了

○目標達成状況

- ・社会資本整備総合交付金の交付決定を受け事業費が減額となったため、当初計画していた柿崎区の桐畑線及び大瀧区の大瀧 311 号線の工事が実施できなかった。
- ・その他の路線は消融雪施設整備計画に基づき早期発注を行い、冬期前までに工事を完了させることができた。また、損傷が小さい今曾根線の消雪井戸更新については、既存井戸に二重管を設置し長寿命化を図るなど、効率的な整備を行うことができた。

【事業の成果】

- ・消融雪施設整備計画に基づき老朽化した消融雪施設の更新を進めるとともに、施設の冬期前点検及び修繕を確実に実施することにより、冬期間の円滑な交通を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・社会資本整備総合交付金の減額により令和元年度で実施できなかった工事は、令和 2 年度に実施し、消融雪施設整備計画に遅れが生じないように進捗管理を行う。
- ・流雪溝の現地操作は地域住民が行っているが、高齢化や地域協働が薄れつつあるため、地域との連携、協働による除排雪体制の維持が今後の課題である。

決算書 (P 306～P 309)	8 款 2 項 6 目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	消融雪施設管理費		

[消雪パイプの冬期前点検状況]



(仲町三丁目地内)

[消雪パイプリフレッシュ工事の完了状況]



(板倉区高野地内)

【執行残額について】

○入札差金	2,155
役務費	98
委託料	1,847
使用料及び賃借料	1
工事請負費	209
○その他	20,058
・実績が見込みを下回ったもの	20,058
旅費	94
需用費	16,651
役務費	13
使用料及び賃借料	10
工事請負費	3,211
負担金補助及び交付金	79

(単位：千円)

決算書 (P 308～P 309)	8 款 2 項 6 目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,657,760	1,731,429	386,498	149	78,200	5,078 (財産収入 諸収入)	1,261,504
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	926,331			180	926,151	

【目的】

- ・冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、適切な除排雪作業を行うとともに、路面凍結防止対策を実施する。
- ・除雪車が入れない狭隘な道路や高齢者宅前などを、地域の住民が共同で除雪する場合、小型除雪機の購入代金の一部を補助することで、冬期間の道路交通を確保するとともに、共助の精神を醸成する。
- ・除雪事業は豪雪地域である当市において欠くことのできないものであるが、近年、建設業界では若年層の雇用が進まない現状から、除雪オペレーターの高齢化が深刻な問題となっている。このことから、市道の除雪オペレーターに従事を希望する 40 歳未満の若年層に対し、資格取得に係る経費の一部を補助する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■市道除排雪事業 1,728,303

○令和元年度目標

- ・通常降雪時の除雪作業は、おおむね午前7時前に完了させ、通勤通学時間帯の円滑な道路交通を確保する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・除雪機械の稼働費のほか全除雪事業者に除雪体制を維持する基本待機料と除雪機械に係る経常的な支出をカバーする固定費を支払い、安定的・継続的な除雪体制を確保した。
- ・計画的な除雪機械の更新と適切な点検整備、修繕を行い万全な除雪作業を実施した。

決算書 (P308～P309)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

・市道除排雪委託料

地区	R1.5月 支出 春先除雪	12月支出	1月支出	2月支出	3月支出	4月支出	合計
合併前上越市	89	115,754	134,532	52,180	119,334	41,534	463,423
安塚区	9,216	15,105	19,428	25,114	46,409	8,057	123,329
浦川原区	2,314	9,984	16,795	10,838	15,580	12,775	68,286
大島区	10,021	11,827	17,639	16,962	26,204	6,751	89,404
牧区	7,467	16,652	23,763	16,996	37,395	9,832	112,105
柿崎区	174	6,146	19,621	5,726	10,198	11,827	53,692
大潟区	0	7,337	9,041	5,508	9,665	4,530	36,081
頸城区	0	14,662	18,845	5,785	10,215	8,319	57,826
吉川区	683	6,865	12,166	7,462	17,244	3,899	48,319
中郷区	1,399	10,050	13,753	12,837	27,101	7,198	72,338
板倉区	7,725	23,076	30,498	18,409	40,532	11,944	132,184
清里区	3,242	8,124	13,315	6,190	14,549	4,507	49,927
三和区	0	16,184	22,059	5,807	19,773	3,769	67,592
名立区	419	5,424	7,931	4,298	9,635	3,468	31,175
合計	42,749	267,190	359,386	194,112	403,834	138,410	1,405,681

※春先除雪・・・当該年度の4月1日以降に行う機械除雪
(冬期間通行止区間の開通除雪や堆雪場の除雪作業)

決算書 (P 308～P 309)	8 款 2 項 6 目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

・除雪機械購入費

地区名	除雪機械	規格	予定価格	契約額	落札率	契約業者
合併前上越市	除雪ドーザ 11 t 級	M	21,670	16,483	76.1%	コマツカスタマーサポート
牧区	除雪ドーザ 18 t 級	SA	27,280	21,450	78.6%	頸北建機
柿崎区	除雪ドーザ 11 t 級	SA	20,768	15,343	73.9%	コマツカスタマーサポート
柿崎区	除雪ドーザ 14 t 級	SA	24,728	18,534	75.0%	コマツカスタマーサポート
吉川区	除雪ドーザ 14 t 級	M	25,850	20,061	77.6%	コマツカスタマーサポート
吉川区	小型ロータリ 1.3m	80PS 級	22,458	20,207	90.0%	山崎サービス
板倉区	除雪ドーザ 14 t 級	M	25,850	20,061	77.6%	コマツカスタマーサポート
名立区	小型除雪機	20PS 級	1,847	1,499	81.2%	越後ホンダ販売
合計			170,451	133,638		

※予定価格の算出方法・・・参考見積り徴取による最低価格

※規格 (M・SA)・・・排雪板の種類

・備品修繕料

地区	支出	主な修繕内容
合併前上越市	43,464	<p>【除雪機械】</p> <p>オーガー油圧電磁弁修繕、ソリ摺り板修繕、エッチ肉盛り修繕、油漏れ修繕、バッテリーリレー修繕、エンジンオイル・オイルフィルター取替修繕、チェーンの肉盛り修繕、オーガー油圧電磁弁修繕、エンジンボンネットリヤミラー取付部亀裂溶接修繕、タコメータワイヤー交換、アームレベラースイッチ交換修繕、バルブ交換、ピストンロッド取替、油圧ホース取替、クラッチ装置部品交換修繕、ハザードリレー交換、バッテリーケース蓋修繕、燃料フィルター取替修繕、シリンダー油漏れ修繕、圧力センサー取替修繕、駐車ブレーキ修繕、スピードメータ修繕、ラジエーター水漏れ修繕、レボタコ交換修繕 等</p>
安塚区	10,614	
浦川原区	7,998	
大島区	6,359	
牧区	10,369	
柿崎区	10,688	
大潟区	6,639	
頸城区	1,173	
吉川区	11,744	
中郷区	9,690	
板倉区	5,080	
清里区	4,254	
三和区	4,973	
名立区	2,736	
合計	135,781	

決算書 (P308～P309)	8款2項6目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

(参考) 除雪体制の概要 (全市)

項目	車道除雪					歩道除雪			
	市道 延長 (km)	除雪 延長 (km)	除雪率 (%)	除雪 ドーザ (台)	ロータリ 除雪車 (台)	市道 延長 (km)	除雪 延長 (km)	除雪率 (%)	ロータリ 除雪車 (台)
H30	2,826	1,759	62.2	337	62	290	150	51.7	55
R1	2,826	1,763	62.4	337	62	290	154	53.1	57
増減	0	4	0.2	0	0	0	4	1.4	2

※除雪ドーザとロータリ除雪車の台数は、貸与車と委託車を合わせた台数
 ※歩道除雪のロータリ除雪車は小型ロータリと小型除雪機を合わせた台数

○目標達成状況

- ・冬期道路交通確保除雪計画に基づき、適切な除排雪作業と路面凍結防止対策を講じたことにより、目標の午前7時前には除雪作業を完了することができた。

■小型除雪機購入費補助事業 800

○令和元年度目標

- ・広報上越等により補助制度を周知するとともに、降雪前までの納入を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・申請のあった1団体に小型除雪機購入に要する経費の一部を支援した。

・補助実績

(単位：台)

区分	合併前 上越市	安塚区	浦原区	大島区	牧区	柿崎区	吉川区	清里区	名立区	計
平成30年度 までの実績	23	21	1	1	2	3	3	1	9	64
令和元年度 交付台数	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1

○目標達成状況

- ・広報上越及び町内会を対象とした地区別除雪会議等を通じ補助制度の周知を行い、申請のあった1団体に補助金を交付し、降雪前までに機械の納入が完了したことから目標を達成できた。

決算書 (P 308～P 309)	8 款 2 項 6 目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

■除雪オペレーター雇用促進事業 529

○令和元年度目標

- ・広報上越等によるPRを行い、若年層オペレーターの雇用促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・申請のあった希望者全員に、除雪機械運転資格の取得に要する経費の一部を支援した。

・交付実績 (H29 年度から実施)

(単位：件)

区分	合併前 上越市	安塚区	浦川原区	牧区	大潟区	頸城区	吉川区	中郷区	計
平成 30 年度 までの実績	10	1	3	6	1	1	-	1	23
令和元年度 交付件数	4	-	3	-	1	-	4	2	14

○目標達成状況

- ・当初計画していた交付者数 11 人の見込みを上回る 14 人に対して、資格取得に要する経費の一部を補助し、除雪オペレーターの担い手確保に寄与することができた。

【事業の成果】

- ・老朽化した除雪車を更新するなど適正な除雪車配備を行うことで、効率的な除雪が実施され、早朝除雪を午前 7 時前に完了することができた。
- ・除雪車が入れない狭隘な道路や高齢者宅前などの除雪を行う団体に、小型除雪機購入費の一部を補助したことにより、狭隘道路等の交通確保を図り、安全で安心な市民生活を確保できた。
- ・深刻化する除雪オペレーターの高齢化の問題を解消するため、40 歳未満の除雪機械運転資格取得希望者に資格取得に要する経費の一部を支援したことで、除雪オペレーターの担い手を確保し、安定した除雪体制の維持に貢献できた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市民からの除雪作業の問合せについては、除雪管理システムによる監視と除雪パトロールの実施により、除雪事業者に正確な情報伝達と迅速かつ的確な作業指示を行うことで対応する。
- ・地域共助による除雪活動の促進を目的とする小型除雪機械購入補助制度を平成 19 年度から実施してきたが、少子高齢化に伴い除雪作業を行える住民が減少していることから、交付申請を行う団体も少なくなってきた。引き続き、地域共助の除雪体制を維持するため、周知を強化するとともに本制度による支援を継続していく。
- ・若年層オペレーターの確保を目的とする除雪オペレーター雇用促進事業補助金については、除雪事業者のヒアリングや各種会議の際に周知を行うとともに、除雪体制の維持を継続するため、制度の見直し等を検討しながら、一層の雇用確保推進に努める。

決算書 (P 308～P 309)	8 款 2 項 6 目 除雪費	所管課等	道路課
事業名	除雪費		

【執行残額について】

○入札差金	180
需用費	19
委託料	160
備品購入費	1
○その他	926,151
・実績が見込みを下回ったもの	926,151
職員手当等	3,467
共済費	6
報償費	84
旅費	51
需用費	29,629
役務費	756
委託料	887,090
使用料及び賃借料	32
工事請負費	140
原材料費	3,235
負担金補助及び交付金	1,650
公課費	11